

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リエブラッツ草津		
○保護者評価実施期間	令和 8 年 1 月 12 日		～ 令和 8 年 2 月 7 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	令和 7 年 12 月 1 日		～ 令和 8 年 1 月 16 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 2 月 18 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門的な評価とプログラムの立案及び実施。	<ul style="list-style-type: none"> 個別療育利用児を対象にした専門的支援の実施。 言語コミュニケーション、ビジョンといった評価の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 集団療育利用児を対象にした専門的支援の実施拡大。 新たに心理面や社会性に対する客観的に評価、アセスメントの導入を行う。
2	5領域に沿った支援の充実。	<ul style="list-style-type: none"> 各領域ごとに各専門職が評価およびプログラムの提案を実施。 外部研修の受講等研鑽の機会を確保。 	<ul style="list-style-type: none"> リスト化するなど活動内容の拡大。 コミュニケーションや社会性に重点を置いた支援。
3	学習の苦手さに対する支援。	<ul style="list-style-type: none"> 遊びや活動の中に取り入れ興味を持つ。 学習のつまずきに対する評価。 	<ul style="list-style-type: none"> 就学先への情報共有・関係機関への訪問。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士・きょうだい同士の交流機会、放課後児童クラブや児童館との交流機会、地域の他のこどもと活動する機会の確保。	<ul style="list-style-type: none"> 開催頻度が少ない。 交流会においては、就労している保護者の方が多く、平日(営業日)での開催が困難。 地域の子どもと活動できる場や機会の情報収集不足。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の夏祭り等の情報収集を行い、年間計画に位置づける。 個別療育対象のお子さんも参加できる機会を検討していく。
2	個別療育利用児における非常災害の発生に備えた定期的な避難、救出その他必要な訓練の実施。	<ul style="list-style-type: none"> 集団療育利用児には年間通じて実施しているが、個別療育利用児対象には未実施。療育時間内での実施時間の確保、保護者への説明が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 同時間帯での個別療育利用児と合同での訓練。 保護者への通知または事前案内。
3	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われているか。	<ul style="list-style-type: none"> 送迎時の申し送りが主であり、定期的かつ時間を確保した場の提供不足。 	<ul style="list-style-type: none"> モニタリング時に対面で実施。